

パブリックコメント（令和5年11月29日～12月13日）
 富山県総合雪対策基本計画（案）に対する意見の概要と意見に関する県の考え方

意見提出者数：1名 意見数：2件

	項目	意見の概要	意見に対する県の考え方
1	第2章 雪に強い快適なまちづくり 5 除排雪作業の担い手の確保 (本文 28 ページ)	無雪期にて各市町村で開催されるイベント等々にての除雪機械の試乗体験会の開催や、自治体保有機械への愛称明記(立山室堂所在除雪車・立山熊太郎を参考に。)し重機、除雪機械への親しみ親近感をもたせる。(若者への魅力発信項目に+)	重機や除雪機械を身近に感じ、親しみを持っていただくことは、担い手確保の点でも重要だと考えています。計画では、「担い手確保のために公共工事の施工時期の平準化や働き方改革、DX化、女性の活躍、若者に対する魅力発信に取り組む(P28)」と記載していますが、今回のご提案を参考に、若者への魅力発信に取り組んでまいります。
2	第3章 雪を活かし雪に親しむ利雪・親雪の促進 (本文 29～32 ページ)	まだまだ実力が未知数の生成 AI ですが、誰でも簡単にデザインの世界に参入出来る時代、アウトドア・DIY(ドゥイットユアセルフ)ブームを背景に『富山流・サブカルチャー』と命名、【レインウエア・雨具・除雪機や工具等】のデザインを描く機会を設けてみてはいかがでしょうか。	計画では、「県民が地域で実施する雪に親しむ事業の支援(P29)」や「克雪、利雪、親雪に関する調査研究、技術開発やイベントの開催に対する支援(P31)」、「県内各地で開催される雪のイベント情報を積極的に発信(P32)」と記載しており、富山独自の文化を創造し、発信することとしています。今回のご提案については、今後の事業展開の参考とさせていただきます。